

漢字語を活用する韓国語基礎語彙教育

そん ほん やん
宣 憲 洋

キーワード：言語連合, 漢字語, 小学漢字, 常用漢字表, 訓読, 共通核

1. まえがき

丸谷才一の『おんなざかり』という小説の中に「中国語できるの?」「出来ない。漢字で見当つけて何とか読む。溥儀って満州国皇帝、あのラスト・エンペラーも、日本語の新聞をさうして読んだっていふから、まあいいんだな」という会話が出てくる。

これは中国語と日本語が漢字を共通核とする言語連合をなしている事実の一つの証左であると言えよう。

また、金文京(2010年)の次の言葉「明治以降漢文が衰退していく中で西洋の文物、制度、概念の多くが漢語によって翻訳され、漢文訓読体が議論の文体として採用された」との言や、野間秀樹(2007年)の「朝鮮語や日本語の〈翻訳〉という契機は、それぞれの言語の〈書かれたことば〉を形作る、決定的な柱であった。そして〈翻訳〉という営みの中で、中国語の古典語という他の言語が、自らの言語を支える基盤として、言語の隅々にまで根を下ろすのである。」との主張によっても日本語と韓国語が言語連合をなす事実は、明らかである。

1970年前後の韓国の大学生は、高校、大学を通じ学校では日本語を学ぶ機会はなく、社会的にも日本語を学ぶことを奨励されるような雰囲気でもなく、むしろ日本語の本を持っていることは隠すようにせざるを得ない雰囲気があった。

それにもかかわらず、彼らは日本の専門書や論文をよく読んでいた。漢字の拾い読みで大雑把に内容を読み取っていたようだ。

このことから分かるように韓国人の日本語学習において、漢字はとても有力な手段になりうる。

逆にいえば日本人の韓国語学習にも、これは大いに役立つと言える。

2. 韓国語は日本語を第一言語とする者にとって学びやすい言葉です。その理由は、日本語と韓国語が漢文訓読を共通核に持つ言語連合をなしているからに他なりません。

伊藤英人(2007年)は、「朝鮮語によって抽象的な世界、学問的世界等の事象を扱おうとすれば、漢字語に依らなければ何もできないと言っても過言ではない。これは日本語も同様である。」としていますが、このような学問的な世界や抽象的な事象のみならず、一般生活においても漢字語が重要であることを守 誠(2009年)は、「小学校配当漢字」、例えば、小学校1年生の時は、80字を習得するように言われます。「一」「右」「雨」と音読みの五十音順で始まって、「耳」や「車」や「手」や「中」などがあり、「力」「林」「六」で終わっています。

漢字語とは、中国由来の語で漢字で表記できるもので、漢字音で読まれる語の意。

これらの小学漢字を上手に組み合わせると、様々な言葉が生み出されます。「手」と「中」をあわせると「『手中』におさめる」の『手中』という言葉が生まれます。

また、「一」と「手」を組み合わせると「『一手』に引き受ける」「『一手』販売」の『一手』という言葉が生まれます。このように見ていきますと、小学六年生までに習う小学漢字を上手に組み合わせると、果てしなく言葉がわき出てくるのです。難解な文字を使って漢字表現を楽しむのも否定するものではありませんが、強調したいのは、小学校時代に習った文字の驚くべき底力をぜひ味わっていただきたいということです。」と漢字学習の重要性を指摘している。

また、外国人に日本語を教える立場から、加納千恵子他（1989年）は、「漢字を学習することによって、日本語そのものの運用能力が高まる、あるいは日本語的な認識方法ができるようになる、という利点もある、例えば、漢字の拾い読みによる速読であるとか、単漢字の意味から未習の複合語の意味を類推することなど、特に中級・上級に進む意志のある学習者にとって、漢字学習の効果は大きい。しかし、これまでの日本語教育では、漢字の学習は個々の学習者の努力に委ねられるのが普通で、漢字の重要性、その習得の難しさにもかかわらず、漢字の教授法や教材の研究などが十分になされてきたとはいえない。」としています。

これは、逆に日本語話者が韓国語を学習する場合にも、そっくりそのままあてはまるでしょう。以上から、韓国語の語彙学習において漢字語学習が重要であることが分かります。

漢字語学習の基礎は当然漢字ですが、韓国では現在漢字があまり使用されていません。しかし、漢字語の重要性に変わりがないのは、漢字そのものの使用と漢字語の使用がまったく別の物であり、完全なハングル専用をしている朝鮮民主主義人民共和国や中国の延辺朝鮮族自治州で漢字語が多用されていることから明らかです。

3. では、漢字を何字、また、どのような漢字を学習すべきかでしょうか。

小学校で全校生徒に向かって話をする時、3年生に理解できるように話せと言われます。これは、3年生が理解できることは1、2年生もおぼろげに分かるということを意味するのでしょう。

このことから、小学校学習漢字1006字の中から、1年配当漢字80字、2年配当漢字160字、3年配当漢字200字、計440字を選び、その意味（訓）と、韓国漢字音を「対」にして覚えさせることが日本語話者の韓国語学習に大きな成果を生むと考えます。

訓と韓国漢字音を「対」にして覚えさせることの意義は、訓によって韓国固有語を覚え、同時に韓国漢字音も覚えさせるためです。

3-1. 次ページは、以上の考えを具体化させるための教案です。

3-2. 音読例を示すため、小1配当漢字80字の音訓例を最後に掲げます。

韓国語の『基本漢字440・基本語彙440』教案

各ユニットの構成は次の通りです。

ユニット	内 容	所要時間
前期3回目授業 ユニット1 後期2回目授業	基本の話（意味・韓国漢字音）説明 繁体字・日本漢字（国字）・韓国漢字に関する説明 旧かなづかいによる振り仮名と韓国漢字音について	90分
前期4回目授業 ユニット2 後期3回目授業	基本漢字語（小1配当漢字80字） 2-1.音読練習 2-2.辞書で例文探し 2-3.短文作文（辞書に例文ない語）	15分 30分 45分→宿題
前期5回目授業 ユニット3 後期4回目授業	ユニット2の小テスト 基本漢字語（小2配当漢字160字） 3-1.音読練習 3-2.辞書で例文探し 3-3.短文作文（辞書に例文ない語）	20分 15分 25分 30分→宿題
前期6回目授業 ユニット4 後期5回目授業	ユニット3の小テスト 基本漢字語（小3配当漢字200字） 4-1.音読練習 4-2.辞書で例文探し 4-3.短文作文（辞書に例文ない語）	20分 15分 25分 30分→宿題
<p>*夏休み前に1～4の4ユニットを実施します。 *夏休み明けに1～4の4ユニットを再度実施します¹⁾。</p>		

各ユニットの[音読練習]とは、例えば、天という漢字ならば、コーラスで“haneul cheon”のように音読することを意味します。

このように練習することで、目と耳と口を総動員して漢字語と固有語の基礎語彙を同時覚えます。

1) 単語は、頻繁に練習するよりも一定期間おいて練習する方が良いという研究成果がある。水野光晴（1995年）、99ページ。

小 1 配当漢字80字

漢 字	日 本 字	韓国語意味・読み	ローマ字表記(2000年文觀部告示)
1. 一		한 일	han il
2. 右		오른 쪽 우	oreun jjok u
3. 雨		비 우	bi u
4. 圓	円	둥글 원	dunggeul won
5. 王		임금 왕	imgeum wang
6. 音		소리 음	sori eum
7. 下		아래 하	arae ha
8. 火		불 화	bul hwa
9. 花		꽃 화	ggot hwa
10. 貝		조개 패	jogae pae
11. 學	学	배울 학	baeul hak
12. 氣	氣	기운 기	giun gi
13. 九		아홉 구	ahop gu
14. 休		쉴 휴	swil hyu
15. 玉		구슬 옥	guseul ok
16. 金		쇠 금	soe geum
17. 空		빌 공	bil gong
18. 月		달 월	dal wol
19. 犬		개 견	gae gyeon
20. 見		볼 견	bol gyeon
21. 五		다섯 오	daseot o
22. 口		입 구	ip gu
23. 校		학교 교	hakgyo gyo
24. 左		왼 좌	oen joa
25. 三		석 삼	seok sam
26. 山		뫼 산	moe san
27. 子		아들 자	adeul ja
28. 四		넉 사	neok sa
29. 絲	糸	실 사	sil sa
30. 字		글자 자	geulja ja
31. 耳		귀 이	gwi i
32. 七		일곱 칠	ilgop chil
33. 車		수레 차	sure cha
34. 手		손 수	son su

漢字語を活用する韓国語基礎語彙教育

漢 字	日 本 字	韓国語意味・読み	ローマ字表記(2000年文觀部告示)
35. 十		열 십	yeol sip
36. 出		날 출	nal chul
37. 女		계집 여	gyejip yeo
38. 小		작을 소	jageul so
39. 上		위 상	wi sang
40. 森		나무 뺑뺑할 삼	namu bbaekbbaekhal sam
41. 人		사람 인	saram in
42. 水		물 수	mul su
43. 正		바를 정	bareul jeong
44. 生		날 생	nal saeng
45. 青	青	푸를 청	pureul cheong
46. 夕		저녁 석	jeonyeok seok
47. 石		돌 석	dol seok
48. 赤		붉을 적	bulgeul jeok
49. 千		일천 천	ilcheon cheon
50. 川		내 천	nae cheon
51. 先		먼저 선	meonjeo seon
52. 早		일찍 조	iljjik jo
53. 草		풀 초	pul cho
54. 足		발 족	bal jok
55. 村		마을 촌	maeul chon
56. 大		클 대	keul dae
57. 男		사내 남	sanae nam
58. 竹		대 죽	dae juk
59. 中		가운데 중	gaunde jung
60. 蟲	虫	벌레 충	beolle chung
61 町		밭두둑 정	batduduk jeong
62. 天		하늘 천	haneul cheon
63. 田		밭 전	bat jeon
64. 土		흙 토	heulk to
65. 二		두 이	du i
66. 日		날 일	nal il
67. 入		들 입	deul ip
68. 年		해 연	hae yeon
69. 白		흰 백	heuin baek

漢 字	日 本 字	韓国語意味・読み	ローマ字表記(2000年文觀部告示)
70. 八		여덟 팔	yeodeol pal
71. 百		일백 백	ilbaek baek
72. 文		글월 문	geurwol mun
73. 木		나무 목	namu mok
74. 本		근본 본	geunbon bon
75. 名		이름 명	ireum myeong
76. 目		눈 목	nun mok
77. 立		설 입	seol ip
78. 力		힘 역	him yeok
79. 林		수풀 임	supul im
80. 六		여섯 육	yeoseot yuk

参 考 文 献

1. 金文京 『漢文と東アジア/訓読の文化圏』, 東京: 岩波書店, 2010年, 80ページ
2. 守誠 『読めますか/小学校で習った漢字』, 東京: サンリオ, 2009年, 2ページ
3. 横山詔一他編著 『新聞電子メディアの漢字/朝日新聞CD-ROMによる漢字頻度表』, 東京: 三省堂, 2008年
4. 子安宣邦, 『漢字論/不可避の他者』, 東京: 岩波書店, 2003年, 5ページ
5. 加納千恵子, 竹中弘子, 清水百合, 石井真理子
『基本漢字500/BASIC KANJI BOOK(VOL.1)』, 東京: 凡人社, 1989年
6. 伊藤英人, 「名詞をめぐる」, 『韓国語教育論講座』, 東京: くろしお出版, 2007年
7. 李應百, 国民学校学習用基本語彙, 『国語教育/18-20合併号』, ソウル: 韓国国語教育研究会, 1972年
8. 野間秀樹, 「試論: 言葉を学ぶことの根拠はどこに在るのか」, 『韓国語教育論講座』, 東京: くろしお出版, 2007年, 23-24ページ
9. 丸谷オー 『おんなざかり』 文芸春秋, 1993年1月, 275-276ページ
10. 坪井善明 「中・日・韓・越のキーワード」, 溝口雄三他編著 『漢字文化圏の歴史と未来』, 東京: 大修館, 1992年
11. 水野光晴 『外国語習得/その学び方100の質問』 東京: 研究社, 1995年